

ピョートル・  
アンデルシェフスキ  
ピアノ・リサイタル



©K.Miura

# PIOTR ANDERSZEWSKI

## PIANO RECITAL

2011年

5/21(土) 19:00

サントリーホール

Saturday, May 21, 2011 at 7 p.m. Suntory Hall

S¥6,000 A¥5,000 B¥3,000 プラチナ券¥11,000

J.S.バッハ:

イギリス組曲第5番 木短調 BWV810

J.S.Bach: English Suite No.5 in E minor BWV810

シューマン(アンデルシェフスキ編):

ペダルピアノのための練習曲(6つのカノン風小品) op.56

Schumann: 6 Etudes in Canonic for pedal piano op.56 (arr.Anderszewski)

ショパン:

マズルカ集(番号未定)

Chopin: Mazurukas (No.tbc)

J.S.バッハ:

イギリス組曲第6番 二短調 BWV811

J.S.Bach: English Suite No.6 in D minor BWV811

※当初の発表より曲目が一部変更になりました。



主催: KAJIMOTO 後援: ポーランド共和国大使館 協力: 株式会社EMIミュージック・ジャパン

# アンデルシェフスキ、あるいは困難な存在

人間とは興味深く、神秘的なものである。日々の生活を送るなかで、私たちはときどきそのことを忘れてしまうけれど、決してその内実を手離さず、強い好奇心をもって生きるひともいる。彼にとっては、未知のものは探求を呼び覚まし、不可解なものはいっそう深くへと誘う磁力であるに違いない。

ピョートル・アンデルシェフスキは、そうした自身の探究に、きわめて真摯な音楽家である。それはときに痛々しいまでに誠実で、容赦ないほど過酷でもある。どうして、彼のような人間がコンサート・ピアニストという職業を続けていられるのか、ときには疑問にさえ思えてくる。

アンデルシェフスキの弾くベートーヴェンやバッハを初めて聴いたとき、激しい拒絶と人懐こい愛嬌が同じ内面から強く響いてくることに、奇妙で魅力的な距離を覚えた。孤独と親愛がひとつのものとして分かち難く存在する。いま彼の演奏を——たとえば新しいシューマンのCDを聴くたび、求心的な親密さに打たれながら、やはり頑なな芯のような隔絶も感じる。それはかぎりなく内心から、切実に響いてくる。矛盾は

神秘であり、困難は生きることそのものの不可解にともなう。わり切れないものをわり切らないままに、しかし正面から向き合おうとする不純の純粋な意志が、彼の音楽に深刻な厳しさ、そして痛切なほど甘美な優しさを運ぶ。

そうして、アンデルシェフスキはバッハの宇宙を紐解き、それ自身に一体化していく。ショパンの孤独の奥深くで純化された歌を、魂そのものの漂泊のように舞う。あるいは、シューマンの引き裂かれた自己を深く理解しようと努め、それをもういちど細部から自分の手で組織し直そうとする。こうしたことの執拗な徹底が、個人の精神や感情をどれだけ高め、またどれだけ疲弊させるものか、それは当人にしかわからない。

しかし、彼は矛盾や多義性を、人間の真実として愛しぬこうとする。存在の困難を受け、ピョートル・アンデルシェフスキはこの現代に孤独な旅を続けていく。

青澤隆明(音楽評論)

## ピョートル・アンデルシェフスキ(ピアノ) PIOTR ANDERSZEWSKI, *Piano*



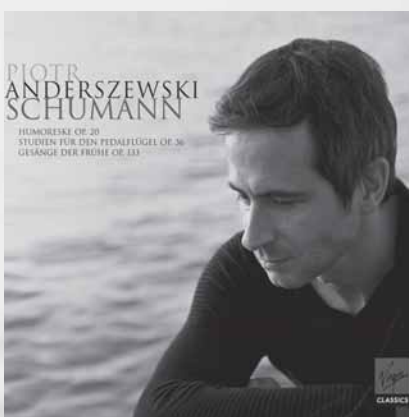
「まさに息を呑むようなバッハのイギリス組曲第6番であった。(中略) 曲の終わりを迎える前に、聴衆は興奮のあまり総立ちとなっていた。」

「シューマンのペダルピアノのための練習曲で聴かせたうっとりするようなあのアダージョは、今でもまだ私の中で響いている。」

「アンデルシェフスキは音の錬金術師だ。」

ワルシャワでポーランド人とハンガリー人の両親のもとに生まれる。類稀な集中力の高さや独創的な解釈が高く評価されるピアニストで、カーネギーホール、クイーン・エリザベスホール、シャンゼリゼ劇場、ウィーン・コンツェルトハウスなど世界中の主要ホールに定期的に登場している。ベルリン・フィルやボストン響、シカゴ響、ロンドン響、コンセルトヘボウ管などと共演。特に弾き振りには大評判があり、シンフォニア・ヴァルソヴィア、マーラー・チェンバー・オーケストラ、ベルリン・フィルの

ソリストらと共演。なかでもスコットランド室内管とは幅広く活動し、CDも評価が高い。2000年にヴァージン・クラシックスの専属アーティストとなり、最初のベートーヴェン「ディアベリ変奏曲」は、グールドやリヒテルのドキュメンタリーを制作した有名なモンサンジョンが撮ったドキュメンタリーと合わせてリリースされた。受賞も数多く、2002年にはギルモア・アーティストに輝いた。



## アンデルシェフスキ/シューマン:ピアノ作品集

(収録曲)

1. フモレスケ 作品20
2. 練習曲(6つのカノン風小品)  
(ペダルピアノのための) 作品56  
(アンデルシェフスキ編)
3. 暁の歌(5曲) 作品133

ピョートル・アンデルシェフスキ(ピアノ)

録音: 2010年3月14日&9月11日  
ポーランド、ワルシャワ・フィルハーモニー・コンサート・ホール  
16Pブックレット(仏/独/英語)

取り上げられる機会の少ない作品に光を当てた  
アンデルシェフスキのシューマンへの傾倒の成果を問う最新録音

品番: VC-6420220 (輸入盤)

「私にとって、シューマンは偉大なヒューマニスト」、「彼の純粋さと正直さは深く私に触れて来る」と語るアンデルシェフスキ。新作のリサイタル・アルバムは、シューマンの完成されたピアノ作品としては最後の作品を含む、珍しい曲目に集中しています。5つのパートからなり、クララとの幸せな時を反映した快活な気分に満ちた「フモレスケ」、自殺未遂の前年、1853年の作品の「暁の歌」はシューマンが完成させた最後のピアノ作品、ペダルピアノはそのサンプルがシューマンの生地、ツヴィッカウに展示されているオルガンのように手と足のペダルを操作する楽器で、アンデルシェフスキ自身のモダン・ピアノ用のアダプテーションにより演奏しています。

EMI Music Japan Inc.

## チケットのお申込み

### カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 128-174)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999

ツイッター始めました! @kajimoto\_News

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。  
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応  
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 1/29(土) 10:00~

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。